

第 41 回政策研究大学院大学経営協議会議事要旨

- 日 時 : 平成 25 年 4 月 24 日 (水) 15:30~16:10
- 場 所 : 政策研究大学院大学 研究会室 4A
- 出席者 :
 - 〔学外委員〕
老川委員、小野委員、嶋津委員、中邨委員、林委員、早房委員
 - 〔学内委員〕
白石学長、大山副学長、恒川副学長、金本副学長、横道副学長、北岡学長特別補佐、今野学長特別補佐、園部学長特別補佐、増山学長特別補佐
 - 〔説明者〕
渡邊大学運営局長
- 欠席者 :
 - 〔学外委員〕 石田委員、加藤委員、工藤委員

I. 審議事項

1. 学長メッセージ及び大学の執行部の役割分担等について

資料に基づき、白石学長から、学長メッセージについて、大学のミッション達成のための3つの課題、及びその課題達成のポイント7点について説明があった。また、執行部の役割分担について、今年度に新しく研修担当業務が加わったこと、同窓会ネットワーク及び海外からの留学生の応募を一体的に行うためプロモーション・A0・S0の担当をまとめた旨等の説明があった。さらに、運営体制については基本的には昨年度から継続の形で、わずかな変更が加えられたのみである旨説明があった。

◆ 各委員からの主な意見等は以下のとおり。(○学外委員、△本学)

- 課題達成のためのポイントの7番目にある日本人学生と外国人学生のインターアクションについては、現在の日本の状況を考えて相当強調してやってもらいたい。日本人の国際化をGRIPSの組織、システムを使って最大限に行っていただきたい。
- △ その点については、将来のナショナルリーダーになる人材が学ぶ Young Leaders Program, Macroeconomic Policy Program, Public Policy Programといった教育プログラムに日本人が在籍していないことから、今年から機会あるごとにこれらのプログラムに日本人のミッドキャリアの官僚や企業の中堅の人達に入ってもらいたいとお願いし始めている。そのために、本学としても受講コマ数等の面で柔軟に対応していくつもりである。そうして外国人と日本人のインターアクションをできる限り進めたいと考えているので、委員の方々にも、企業のトップの方々とお話しする機会があれば、是非この点を伝えていただきたい。

2. 政策研究院の創設に伴う学則等改正について

資料に基づき、渡邊大学運営局長から、政策研究院の創設について、創設準備の経緯、創設時期と創設記念式典の時期、主な研究テーマ、組織イメージについて説明があった。さらに、政策研究院創設に伴う学則の改正として、「政策研究院」を本学の略称とする第

1 条第 2 項を削除すること、第 23 条の 2 について、組織の目的・運営等に関する必要な改正をすること、及び新たに政策研究院規則を制定することについて説明があり、原案どおり了承した。

◆ 各委員からの主な意見等は以下のとおり。(○学外委員、△本学)

○ 参議の選任方法は具体的にどのようになっているのか。

△ 互選である。ただし設立時は、附則第 2 条にあるとおり学長が委嘱することになっており、その後は自律的にやっていく方針である。

○ GRIPS System という英語名は、この制度を表すうえで適当な言い方なのだろうか。

△ GRIPS という名前自体が海外でも評価され定着してきているのでそれを使いたいということ、いろいろな大学を束ねているニューヨーク州立大学でもシステムという言葉を使っている例があることから、今のところこの名前が良いということになってはいるが、まだ固まっているわけではないので、もし良い案があればご教示いただきたい。

3. 政策研究大学院大学学内規則の基準に関する規程の改正について

資料に基づき、渡邊大学運営局長から、政策研究大学院大学学内規則の基準に関する規程の改正案について、法令等の制定改廃等により当然行われるべき字句の整理その他軽微な改正については、研究教育評議会等における審議を省略し、報告で足りることとするため、新たに規定を設けること、及び必要な規定整備を行う旨説明があり、原案どおり了承した。

4. 平成 23 年度目的積立金について

資料に基づき、渡邊大学運営局長から、平成 23 年度の決算剰余金の繰越承認について、平成 25 年 3 月 15 日付で文部科学大臣より満額承認を受けた旨の報告、及び繰越承認を受けた平成 23 年度決算剰余金約 256 百万円について、目的積立金とした上で、これを取り崩し、25 年度学内予算の承認のとおり、GRIPS 奨学金、学生用 PC 更新等の財源に充てる旨の説明があり、原案どおり了承した。

5. その他

特になし。

II. 報告事項

1. 第 2 期中期目標・中期計画の変更について

資料に基づき、渡邊大学運営局長から、昨年度 1 月末に経営協議会の審議を経て文部科学省へ提出した第 2 期中期目標・中期計画の変更案について、若干の表現修正を経て、文部科学大臣より中期目標の提示と中期計画の変更認可を得た旨報告があった。

2. その他

白石学長から、昨年暮れから準備してきた、GRIPS の長期的方向についてのアドバイスをいただく International Advisory Committee について、メンバーとして前 ASEAN 事務総長スリン・ピッサワン氏、元シンガポール外務・貿易産業大臣ジョージ・ヨー氏、元インドネシア経済調整大臣・現大統領顧問ギナンジャール・カルタサスマ氏、及び元オーストラリア外務大臣アレクサンダー・ダウナー氏の 4 名に引き受けていただいた

こと、今年度末か来年度初めに開催したいと考えていること、その際には経営協議会委員の方々にもメンバーに会っていただきたいと考えていること、日程については1、2ヶ月中には決定する予定である旨説明があった。

以上